

令和7年度研究構想図

【学校教育目標】

○にっこりあいさつ ○はっきりすてきなことば ○やる気いっぱい心ひとつに

【児童の実態】

児童アンケート 2024 年・2025 年 3月実施

質問項目	令和5年度		令和6年度	
	肯定的	否定的	肯定的	否定的
観察は好きですか。	73.5	26.5	83.5	16.5
実験は好きですか。	93	7	95.5	4.5
調べ学習は好きですか。	78.5	21.5	78	22

児童の課題

- ・自分で課題を立てて解決する力
- ・話し合いで自分の考えを広げたり、深めたりする力
- ・実証性、再現性、客観性をもって説明する力

【研究主題】

子供の主体性を促す探究学習

～理科・生活科・生活单元～

研究主題に迫るための手だて

問題解決の学習

①一人一人の意見を共有する。

個別最適な学び

ア:児童一人一人が考えられる工夫
イ:学習到達度等に応じた指導の工夫
ウ:児童自らが学習を調整する環境設定や発問の工夫

②問題の設定や結論などを児童と共に創っていく。

協働的な学び

ア:多様な見方・考え方に触れる機会の創出
イ:デジタル機器の活用
ウ:児童の発言等の取り上げ方の工夫

研究の仮説

一人一人の児童が自分の考えを生かして様々な方法で問題解決の学習を行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業を行えば、児童の思考力・判断力・表現力等の育成ができるだろう。また、自ら課題を見付け、予想、計画、調べる、結果、考察、結論の一連の学習活動の中で、課題を見直し、振り返ることで、考えを広げたり深めたりする力や論理的に説明する力が身に付くことにつながるだろう。

目指す児童像

- (理 科) 自分の考えを生かした様々な方法で観察・実験を行い、問題解決することができる児童
- (生活科) 試行錯誤しながら、おもしろさや不思議さに気付くことができる児童
- (生活单元) 調べる視点をもって、活動に取り組むことができる児童
- (全 体) 他者と学び合い、多様な考えに触れ、考えを深めることができる児童